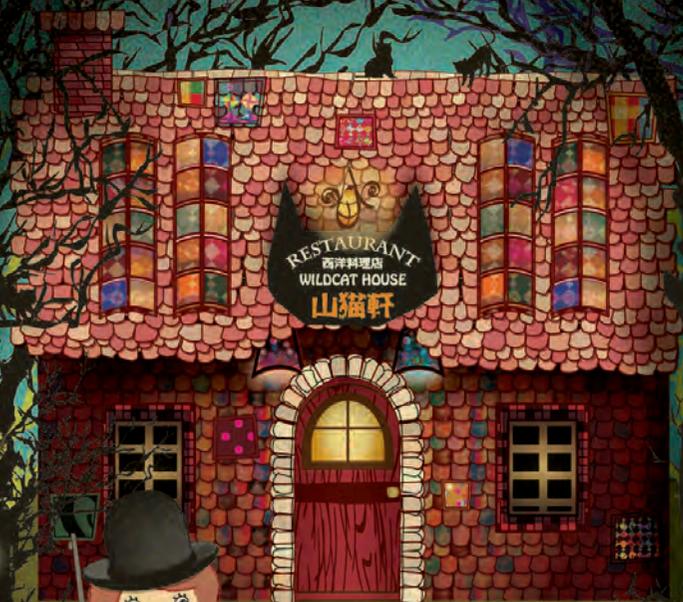


フリーペーパー
PECCO

Vol.40 2017.8



発行 岩手県立図書館

〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号

ポストの 快刀乱麻⑫

使ってみよう! 新聞

皆さんは、自宅で新聞を読んでいますか？今はスマートフォンでニュースサイトにアクセスし、気になる記事だけを読む！という方が多いかもしれませんが、でも、“紙”の新聞も思いがけない記事に目が留まり、ちょっと得した気分になることがあったり、ウェブサイトにはない点があります。



岩手県立図書館の新聞コーナーは、大きく2カ所に分かれています。新聞というと、記事や写真が印刷されたいわゆる新聞紙を思い浮かべますが、縮刷版やマイクロフィルム、オンラインデータベースなどの媒体もあります。



4階新聞コーナー

【全国紙や一部の地方紙、各種業界新聞紙などがあります】



- ◆ 当月分や近い月の新聞は、原紙を並べています。
- ◆ 一部の新聞は、縮刷版で過去のものも並べています。
- ◆ 電子資料コーナーでは新聞記事を検索することができます。
- ◆ マイクロフィルム化された古いものは専用の機械で見られます。



3階郷土・新聞コーナー

【岩手県内で発行されている新聞をまとめています】

- ◆ 岩手県内で発行された新聞が月ごとにファイルされています。
- ◆ 岩手県内の新聞で古いものは明治30年のものからあります。古いものはマイクロフィルム化されています。
- ◆ 東日本大震災を機に発行された震災に関する新聞はこちらにあります。



新聞の楽しみ方いろいろ ▶ 業界紙

業界紙とは？

同業者に向けて、業界内での出来事や話題を提供するための新聞です。発行されるジャンルは、製造業、サービス業、農林水産業等あらゆるものがあります。



震災関連資料コーナー

週間読書人

書評専門紙です。掲載されるジャンルは小説等の文学だけでなく哲学や芸術など多岐にわたります。文学界のニュースなども載っています！

流通新聞 (日経MJ)

ビジネスの動向、消費トレンドについて紹介しています。ヒット商品や消費に関する流行も調べられます。

日本食糧新聞

調味料や飲料、酒類なども含め、“食”に特化したニュースを提供する新聞です。注目の新製品がチェックできます！

日本教育新聞

幼児期から大学、PTA関連情報、社会教育情報等教育に関するニュースを幅広く取り扱っています。教育に関する図書を紹介は、子どもをもつ保護者の方にも役立ちます！



県立図書館スタッフおすすめの本



あたまたの底のさびしい歌

この本は宮沢賢治が友人に書いた手紙11通を選んでまとめた本です。この本を読むと、宮沢賢治が友人とどのようなことを話していたのか、どのような考え方をしていたかがわかり、楽しくなる本です。

請求記号 ケン/915.6/ミヤ
宮沢賢治 著
港の人 出版

宮沢賢治 愛のうた

賢治は美しい愛の詩(うた)を多く残している。それは恋に縁がなかった人物の言葉とは到底思えない…。そんな著者の推理から、賢治の想い人が語られていきます。柔らかな文章にも注目です。

請求記号 澤口たまみ 著
ケン/913.6/サワ
盛岡出版コミュニティー 出版

県立図書館 イベント案内



企画展 期間 7/21(金) ~ 9/10(日)
会場 4階展示コーナー

盛岡市出身の実業家・東洋史学者・郷土史家である太田孝太郎は、幅広い分野の資料を収集研究し文化財保護に尽力しました。没後50年にあたり、当館所蔵の旧蔵書を中心にその業績を紹介いたします。



企画展 第33回 賢治資料展
期間 9/22(金) ~ 11/12(日)
会場 4階展示コーナー

第71回読書週間(10/27~11/9)に合わせ、過去2年間に新しく収集した宮沢賢治関連資料を一堂に集め展示、紹介します。

映画会

子ども向け 11:00 ~
毎月第2・4日曜日

8月	9月	10月
13日	10日	8日
27日	24日	22日

一般向け 14:00 ~
毎月第2・4日曜日
(翌月曜日再上映)

8月	9月	10月
13・14日	10・11日	8・9日
27・28日	24・25日	22・23日

おはなし会 14:30 ~

おはなし☆すてーしょん	8月	9月	10月
毎月第1・3日曜日	6日/20日	3日/17日	1日/15日

手づくりかみしばい	8月	9月	10月
毎月第2土曜日	12日	9日	14日

ファミリーおはなし会	8月	9月	10月
毎月第4日曜日	27日	24日	22日

図書館さんぽ コンシェルジュガイドツアー

毎月第1日曜日	毎月第4日曜日
10時~、13時~	11時30分~
8/6 9/3 10/1	8/28 9/25 10/23

休館日	8月	9月	10月
	31日(木)	29日(金)	28日(土) 31日(火)



宮沢賢治コレクション 1
銀河鉄道の夜
童話 I・少年小説ほか

宮沢賢治 著/筑摩書房 出版
童話・詩作品を中心に、宮沢賢治の作品世界をより深く、より広く味わえるコレクションの第1巻です。代表的な童話・少年小説7篇に加え、「銀河鉄道の夜(初期形第3次稿)」「農民芸術概論」などが収録されており、巻末には長野まゆみさんのエッセイも掲載されています。



海の蠍 明石海人と島比呂志
ハンセン病文学の系譜

山下多恵子 著/未知谷 出版
ハンセン病療養所に隔離され、苦痛と孤独と死の恐怖の中で言葉を紡いだ、明石海人と島比呂志。社会的アイデンティティをすべて剥ぎ取られた極限状態のもと、生み出された彼らの作品を読み解いた評論集です。120枚にも及ぶ、『新潟日報』連載「島比呂志からの手紙」を加えた増補新版です。著者は粟石町出身です。



火と縄文人

高田和徳 編/同成社 出版
縄文人はどんな暮らしをしていたのか? 本書は「火」を手がかりに、御所野遺跡の事例や民俗学の見地もふまえ、縄文人の世界観に迫っています。遺跡調査の詳細な記録から、家や木の実、骨を焼いていたという当時の人々のくらしが見えてきます。編者の高田さんは若手県一戸町出身です。



ゆきのひのおかいもの

小野寺悦子 文/菅野博子 絵
福音館書店 出版
犬のクロくんが、おばあさんに頼まれ、カゴをわえてお買い物をしています。店の人はメモを見て、品物を入れ、代金をとってくれます。そのうちに雪がふってきました。どんどんどんどん雪が積もって行って…。健気なクロくんとおばあさんの、しみじみ心温まるお話です。



原敬と新渡戸稲造

戊辰戦争敗北をバネにした男たち
佐藤竜一 著/現代書館 出版
盛岡藩出身であるという意識を生涯持ち続け、戊辰戦争の敗北をバネに奮闘しつつ生きた原敬と新渡戸稲造。佐藤昌介、太田時敏、後藤新平ら、ふたりと密接な関係にあった人々の軌跡を交え、丹念に追っています。ふたりの偉人の繋がりや国のあり方、世界平和を考えるきっかけになる一冊です。



すずめ日誌

熊谷勝 著/青菁社 出版
初冬のある朝、庭木の枝に仲良く3羽のすずめがとまっていた一頭でっかちで何とも可愛い姿のすずめは、普段どこにでもいると思われていますが、実は人と深い関わりがあります。四季を通して生きるすずめたちの姿を写し撮った魅力満載の写真集です。著者は若手県一関市出身です。